

製品名: GFAP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80896**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ICC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 50kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|-------------------------------|
| 遺伝子名 | GFAP |
| 別名 | FLJ45472; GFAP |
| 遺伝子 ID | 2670.0 |
| SwissProt ID | P14136 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現したヒト GFAP の精製された組み換え断片。 |

背景

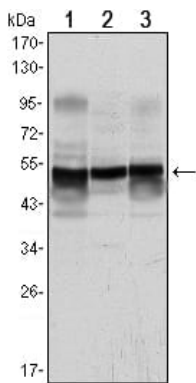
クラス III 中間径フィラメントである GFAP は、中枢神経系の発達中にアストロサイトを他のグリア細胞と区別する細胞特異的マーカーです。組織特異性: フィブロネクチンを欠く細胞で発現します。ABCAM: 中枢神経系のアストロサイトと他の特定のアストロサイ

ト、末梢神経節のサテライト細胞、および末梢神経の非髄鞘形成シュワン細胞で、特異的に強く発現しています。さらに、アストロサイト細胞に由来すると考えられる多くの種類の脳腫瘍でも GFAP が強く発現しています。GFAP は、水晶体上皮、肝臓のクッファー細胞、唾液腺腫瘍の一部の細胞にも見られ、赤血球でも報告されています。

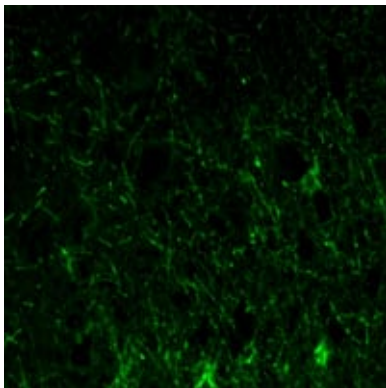
研究分野

-

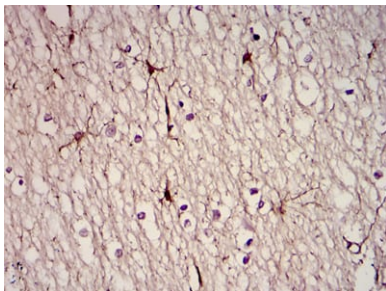
画像データ



A431 (1)、SK-N-SH (2)、PC12 (3) 細胞溶解物に対する GFAP マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



GFAP マウス mAb (緑) を使用した、パラフィン包埋ヒト脳葉組織の免疫蛍光分析。



GFAP マウス mAb と DAB 染色を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析